

専 門 教 養
令和 5 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 <b>保健体育</b>

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、13ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** ① ~ ④、**特別支援教育の専門に関する問題** Ⅰ ~ Ⅲの各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



## 教科等に関する問題

1 体育・スポーツに関する次の問に答えよ。

[問] 「スポーツ基本計画」(文部科学省 令和4年3月)に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 運動をする子供としない子供で二極化が続いており、運動やスポーツをすることが好きな子供は中学校までは増加し、高等学校から減少傾向にあるため、卒業後にも運動やスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童の割合を86%(令和3年度)から90%以上に、生徒の割合を82%(令和3年度)から90%以上に増加を目指す。
- 2 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、全国的に、子供の体力レベルの低下傾向が進む状況が明らかとなり、新体力テストの総合評価がC以上である生徒の割合を44%(令和3年度)から60%以上に増加を目指す。
- 3 成人の週1回以上のスポーツ実施率は56.4%(令和3年度)であり、スポーツの実施に関し、性別、年齢、障害の有無等にかかわらず広く一般に向けた普及啓発や環境整備を行うことにより、成人の週1回以上のスポーツ実施率が90%になること、成人の年1回以上のスポーツ実施率が100%になることを目指す。
- 4 成人の障害者の週1回以上のスポーツ実施率は31.0%(令和3年度)となっている。障害者スポーツの実施環境を整備するとともに、一般社会に対する障害者スポーツの理解啓発に取り組むことにより、学校体育等以外について、障害者の週1回以上のスポーツ実施率を40%程度を目指す。

**2** 事故防止及び安全管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 事故防止に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 心臓検診について、新入生の場合は、まず、保健調査票等で既往症のチェックを行い、心臓検診の結果が出るまでは、途中で中断しにくい強度の強い運動を行い、生徒の様子を観察する。
- 2 WBGT33℃以上で熱中症警戒アラートが発表された地域の場合、熱中症の危険が高いため、激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
- 3 サッカーゴールは、固定されていない場合、ぶら下がることや強風によって容易に転倒してしまうことから、ぶら下がり、懸垂などの危険を生徒に伝え、危険行為を禁止していく。
- 4 食物アレルギーの既往者は、アレルゲンとなる食物に関して、普段は食べても反応が出ない量を摂取した後に、運動が刺激となってアナフィラキシー反応が起きたときは、解熱剤や鎮痛剤を服用する。

[問 2] 水泳の安全管理に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1 排水口の吸い込み事故を防止するため、排水口が多数あり、かつ1つの排水口にかかる吸水圧が弱く、構造上吸い込み・吸い付き事故発生の危険性がない施設においても、吸い込み防止金具等を設置するなど、必ず二重構造の安全対策を施す。
- 2 学校におけるプール水の日常点検の検査項目は、遊離残留塩素、pH値及び透明度で、プール使用前にプール水の水質が基準に適合していれば、プール使用日はどの項目も毎時間点検する必要はない。
- 3 水中においては、苦しんだり慌てたりするようなパニック症状を示すことなく、一時的な平衡機能の失調や瞬間的な呼吸停止、また意識消失等を発症する場合がありますので、泳力があるからといっても油断することなく、常に様子を観察する。
- 4 プールにおいて児童生徒に着衣したままでの水泳を体験させることは、事故防止の観点から有意義なことであり、指導に当たっては、クロールや背泳ぎで、浮力を利用しながら速く泳ぐことを理解させる。

3

「体育」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 体づくり運動の評価規準に関する記述として、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（高等学校 保健体育）」（国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和3年8月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

4

- 1 知識について、課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践、学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。
- 2 技能について、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
- 3 思考・判断・表現について、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うこと、けが等を未然に防ぐために必要に応じて、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。
- 4 主体的に学習に取り組む態度について、体づくり運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。

[問 2] 走り幅跳びに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

5

- 1 助走では、スピードが記録に大きく影響するので、初心者は、はじめから助走距離をできるだけ長くして、速い助走スピードが出せるようにする。
- 2 踏み切りでは、踏み切り板を注視するとともに、接地時間が短いので踏み切り脚の膝をしっかりと曲げ、前傾姿勢で力強く踏み切るようにする。
- 3 かがみ跳びの空中動作では、空中を走るように大きく両脚を交差させ、両腕を上へ上げて胸を反らすようにする。
- 4 着地では、両脚を揃えて前方に放り出すイメージで、両腕は上から大きくかいて後方に引き、上体を前方に曲げるようにする。

[問 3] 水泳に関する記述として、「競泳競技規則」(公益財団法人日本水泳連盟 令和5年4月)に照らして適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 自由形競技では、競技中にプールの底に立つだけで失格となる。
- 2 平泳ぎでは、両手は一緒に胸より水面、水中または水上から前方へそろえて伸ばし、常にヒップラインより後ろに戻してはならない。
- 3 背泳ぎでは、折り返し動作中を除き、競技中は常にあおむけの姿勢で泳がなければならない。
- 4 バタフライでは、折り返し、ゴールタッチは、水面の上もしくは下で、片手で壁に触れなければならない。

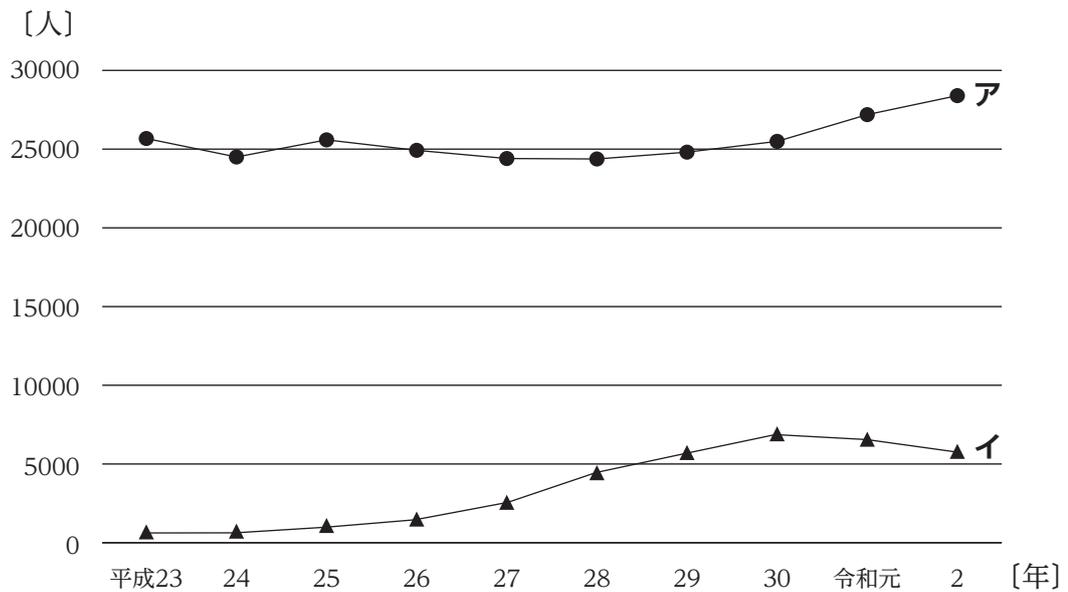
[問 4] 体育理論における運動やスポーツの学習に関する記述として適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 練習やトレーニングによって技能や体力を向上させるために、それまでに行っていた運動より強度や難度が高い運動を行う必要があり、これをオーバーロードの原理という。
- 2 心拍数が毎分180拍程度の運動強度のランニングなど、短い休息時間をはさんで繰り返す運動をレペティショントレーニングという。
- 3 練習やトレーニングを効果的に行うためには、意識性・個別性・全面性・特異性・漸進性の5つの原則を踏まえて、長期的に計画することが重要である。
- 4 練習を続け技能が向上すると、次の段階に進むまでにスランプという一時的な伸び悩みの時期や、プラトーという低下の時期が訪れる。

4 「保健」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、我が国の性感染症報告数の年次推移を示したものである。図中のア・イ及び下の記述A・Bには、それぞれ梅毒又は性器クラミジア感染症のいずれかが当てはまる。梅毒に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

図



(厚生労働省「感染症発生動向調査」から作成)

- A 症状と特徴は経過期間によって異なり、しこりやリンパ節の腫れ、全身の赤い発疹などが出る。妊娠中の場合、胎児に感染することがある。
- B 男女とも自覚症状がない場合が多い。男性は、排尿時に軽い痛みがある。女性は、不妊症の原因となる。

- 1 アーA  
 2 アーB  
 3 イーA  
 4 イーB

[問 2] ICT機器を利用する際の健康面への配慮に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は  。

- 1 端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30cm以上離す。
- 2 長時間にわたって継続して画面を見ないよう、50分に1回は、20秒以上、画面から目を離して、近くのものを見るなどして目を休める。
- 3 夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ（輝度）を上げることが推奨される。
- 4 睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモンの分泌が促進されるため、就寝1時間前からのICT機器の利用が適切である。

[問 3] 次の記述は、あるスポーツ障害に関するものである。このスポーツ障害の名称として適切なものは、下の1～4のうちどれか。解答番号は  。

ジャンプやキックなど同じ動作を繰り返していると、膝蓋骨と脛骨を結んでいる膝蓋腱によって脛骨粗面部が引っ張られるストレスがかかるため、その部分の骨がはがれたり炎症が起きる。膝蓋骨の下方にある脛骨粗面に限局した疼痛と強い圧痛が主な症状である。応急手当はアイシングが最も有効であり、予防には大腿四頭筋のストレッチングが最も重要である。

- 1 ジャンパー膝
- 2 オスグッド病
- 3 シンスプリント
- 4 インピンジメント症候群

## 特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 教育支援に関する記述として、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 11。

- 1 障害のある子供に対し、その障害を早期に把握し、早期からその発達に応じた必要な支援を行うことは、その後の自立や社会参加に大きな効果があると考えられるとともに、障害のある子供を支える家族に対する支援という側面からも、大きな意義がある。
- 2 障害のある子供が、地域社会の一員として、生涯にわたって様々な人々と関わり、主体的に社会参加しながら心豊かに生きていくことができるようにするためには、教育、医療、福祉、保健、労働等の各分野が一体となって、社会全体として、その子供の自立を生涯にわたって教育支援していく体制を整備することまでは必要ない。
- 3 子供一人一人の障害の状態等の変化に応じて適切な教育を行うためには、就学時のみならず就学後も引き続き教育相談を行う必要がある。そのためには、学校内の特別支援教育に関する体制を整備しながら、教育相談や個別の教育支援計画に基づく関係者による会議などを定期的に行い、必要に応じて個別の教育支援計画や個別の指導計画の見直しを行うとともに、学校や学びの場を柔軟に変更できないようにしていくことが適当である。
- 4 特別支援学校では、個別の教育支援計画を活用し、本人及び保護者との共通理解を図ることなく、小学部・中学部・高等部等で一貫性のあるキャリア教育を推進することが重要である。また、生徒が、自分自身を見つめ、自分と社会とのかかわりを考え、自己の生き方や進路を選択するとともに、卒業後も、自己実現に向けて努力していくことができるよう、適切な指導や必要な支援を行うことが必要である。

[問 2] 特別支援教育の制度に関する次の記述**ア**～**エ**を、年代の古いものから順に並べたものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 12。

- ア** 学習指導要領の改訂が行われ、「養護・訓練」を「自立活動」と名称変更すること、個別の指導計画を位置付けることが示された。
- イ** 学校教育法施行規則の一部改正が行われ、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別の指導を特別な場で受ける指導形態を、高等学校及び中等教育学校の後期課程においても実施できるようになった。
- ウ** 障害の重複化や多様化に伴い、複数の障害種別に対応した教育を実施することができる特別支援学校の制度を創設するとともに、小中学校等における特別支援教育を推進すること等により、障害のある児童生徒等の教育の一層の充実を図ることになった。
- エ** 学校教育法施行規則の一部改正等が行われ、小学校又は中学校に在学する心身の障害の程度が比較的軽度な児童生徒に対する指導の一層の充実を計る観点から、通級による指導を行う場合に、特別の教育課程によることができるようになった。

- 1 **ア** → **エ** → **イ** → **ウ**
- 2 **ア** → **エ** → **ウ** → **イ**
- 3 **エ** → **ア** → **イ** → **ウ**
- 4 **エ** → **ア** → **ウ** → **イ**

[問 3] 次の記述は、肢体不自由の児童・生徒に対する情報教育に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **13** 。

肢体不自由者である児童生徒に対する情報機器を活用した指導においては、障害の状態等に応じて、適切な支援機器の適用と、 **ア** が必要となる。例えば、同一部位の障害であっても、実際に情報機器や支援機器を身体の状態等に合わせて利用する場合など、ニーズにより微妙に異なる。そのため、それぞれの児童生徒の発達や身体機能の状態や、体調の変化などに応じて、絶えず細かい適用と調整をする必要がある。そのためまた、指導する教師は、障害についての知識や、支援機器の活用方法について **イ** を学ぶことが重要となる。その際、自立活動の「身体の動き」や「コミュニケーション」などとの関連を踏まえ、身体の負担がなく機器を操作するための姿勢やより操作しやすい入力方法について検討することは重要である。

(「教育の情報化に関する手引(追補版)」(文部科学省 令和2年6月)から作成)

- |            |                     |          |              |
|------------|---------------------|----------|--------------|
| 1 <b>ア</b> | きめ細かなフィッティング        | <b>イ</b> | 基本的な知識       |
| 2 <b>ア</b> | きめ細かなフィッティング        | <b>イ</b> | 医療機関との日常的な連携 |
| 3 <b>ア</b> | 他の機器が児童・生徒の目に触れないこと | <b>イ</b> | 基本的な知識       |
| 4 <b>ア</b> | 他の機器が児童・生徒の目に触れないこと | <b>イ</b> | 医療機関との日常的な連携 |

Ⅱ 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 弱視の児童・生徒の支援に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 視覚から情報を得ることが制限されてしまうため、地図のような教材は、なるべく多くの情報を一度に記載し、少しでも多くの情報を得られるように工夫することが必要である。
- 2 色彩への反応が弱い児童・生徒もいるので、黒板にチョークで板書をする時は、白、黄、赤、青、緑等のチョークを使い、文字等を様々な色で色分けしながら書くことが大切である。
- 3 暗い場所では文字や絵などが見えにくくなってしまうこともあるため、照度の高い明るい場所で学習することが大切である。十分な明るさを確保するため、晴天の場合は、直射日光が直接当たる席を用意し、ブラインド、カーテンは必要ない。
- 4 通常の文字をそのまま読むことが困難な見えにくい児童・生徒に対しては、拡大教科書を用いるとともに、文字などを拡大した教材を用意したり、弱視レンズや拡大読書器を使用したりして見やすい文字の大きさと学習するようにする。

[問 2] 聴覚器の部位に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 耳管には、ツチ骨、キヌタ骨、アブミ骨がある。3つは関節で連結し、耳小骨連鎖を形成している。これにより、外耳孔からの音波を内耳に伝えている。
- 2 骨迷路は、上咽頭と鼓室をつなぐ管で、嚥下時に開き、外界と中耳腔の圧を平衡に保つ。中耳圧と外気圧が等しいとき、鼓膜は最もよく振動する。
- 3 外耳道は、音波を鼓膜に導く管であるが、一端が開いた共鳴腔となっており、この共鳴により音波が増強される。
- 4 鼓室は、蝸牛、前庭、半規管からなり、内に外リンパ液を満たしている。蝸牛は聴覚に、前庭と半規管は平衡に関係している。

[問 3] 知的障害に関する次の記述ア～エのうち、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

ア 知的障害とは、日常生活や社会生活などについての適応能力は十分であるが、知的機能の発達に遅れが認められ、特別な支援や配慮が必要な状態である。

イ 知的障害は、精神的、神経発達の、医学的及び身体疾患の併発がしばしばみられ、運動障害を併存していることも少なくない。

ウ 知能発達検査としては、日本版Vineland II適応行動尺度がある。

エ 適応行動の問題は、その適応行動が要求されない状況になると顕在化しなくなるということもある。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 イ・エ
- 4 ウ・エ

[問 4] 次の記述は、学校教育法施行令第22条の3で定める肢体不自由者の障害の程度に関するものである。記述中の空欄  ～  に当てはまる語句を選んだ組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

一 肢体不自由の状態が  の使用によつても歩行、筆記等日常生活における  が不可能又は困難な程度のもの

二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の  を必要とする程度のもの

- |   |   |      |   |         |   |          |
|---|---|------|---|---------|---|----------|
| 1 | ア | 補装具  | イ | 基本的な動作  | ウ | 医学的観察指導  |
| 2 | ア | 補装具  | イ | 作業動作の遂行 | ウ | 医療又は生活規制 |
| 3 | ア | 福祉用具 | イ | 基本的な動作  | ウ | 医学的観察指導  |
| 4 | ア | 福祉用具 | イ | 作業動作の遂行 | ウ | 医療又は生活規制 |

[問 5] 疾病に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は  。

**ア** 白血病とは、大量の蛋白尿により血清蛋白が減少する疾患で、むくみを認めることが多い。

**イ** ネフローゼ症候群とは、血液の製造所である骨髄で異常な未熟白血球が増殖し、その浸潤により、正常造血機能の抑制を来す病気である。

**ウ** 心筋症とは、心筋が薄くなっていく拡張型心筋症と、心筋が厚くなっていく肥大型心筋症がある。

**エ** 糖尿病とは、インスリンという膵臓から分泌されるホルモンの不足のため、ブドウ糖をカロリーとして細胞内に取り込むことのできない代謝異常である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・エ
- 3 イ・ウ
- 4 ウ・エ

[問 6] 吃音の特性に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は  。

**1** 個々の子供の吃音の状態は、日によったり、場の状況や相手、話の内容により変動することはない。

**2** 吃音のある子供の中には、自分が苦手であるとか、避けて通りたいと思っている特定の場面を意識的に又は無意識的に避けようとすることがある。

**3** まばたきをする、体をゆする、足踏みをする、首を振るなど、発語を伴って生じる身体運動のことを随伴症状と呼び、吃音症状が進展した子供にはみられない。

**4** 吃音は、子供の社会性の発達や自己肯定感に重大な影響を与えることになりにくいものである。

Ⅲ 学習指導要領に関する次の問に答えよ。

[問] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「教育課程の編成」に関する次の記述  
ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。  
解答番号は  。

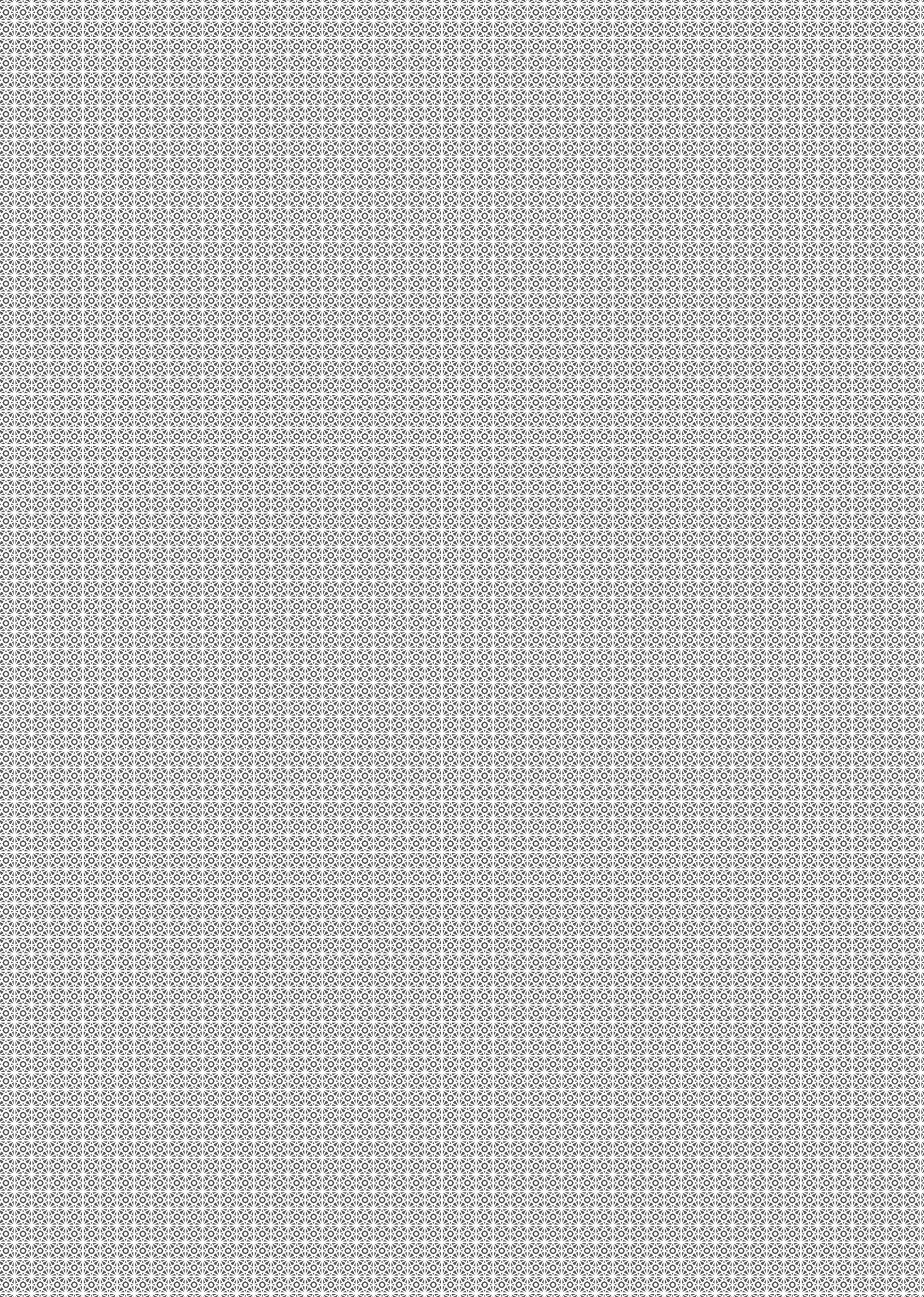
- ア 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育及び外国語の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、全ての児童に履修させるものとする。
- イ 小学部又は中学部の各教科等の授業は、年間30週以上にわたって行うよう計画し、週当たりの授業時数が児童又は生徒の負担過重にならないようにするものとする。
- ウ 小学部又は中学部の各学年の自立活動の時間に充てる授業時数は、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じて、適切に定めるものとする。
- エ 特別活動の授業のうち、小学部の児童会活動、クラブ活動及び学校行事並びに中学部の生徒会活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

- 1 ア・イ
- 2 ア・エ
- 3 イ・ウ
- 4 ウ・エ









3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\boxed{\quad}$  には、数字又は符号 (-) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号(-)のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。